

第6期 麻生区区民会議 第1回全体会議

- 1 開催日時 平成28年8月1日（月）午後3時～午後4時35分閉会
- 2 開催場所 麻生区役所第1会議室
- 3 出席者 [委員]
安藤委員、池松委員、石井委員、植木委員、海崎委員、佐藤委員、
佐野委員、菅野委員、鈴木（昭）委員、鈴木（隆）委員、関根委員、
高倉委員、高橋委員、長岡委員、橋本委員、林委員、松田（基）委員、
松田（通）委員、吉垣委員
（欠席）緒方委員
[参与]
勝又参与、木庭参与、月本参与、石川参与
（欠席）雨笠参与、老沼参与、花輪参与、山崎参与、相原参与
[事務局]
井上課長、福島担当係長、鈴木、佐藤、榎本
[関係者]
北沢区長、向坂副区長、小金井区民サービス部長、
猪又保健福祉センター副所長、木村保健福祉センター担当部長、
鈴木道路公園センター所長、吉澤危機管理担当課長、
川本総務課長、中村地域振興課長、三枝生涯学習支援課長
（欠席）若尾保健福祉センター所長
- 4 傍聴者 1人

第1回麻生区区民会議

日 時 平成28年8月1日（月）

午後3時から

場 所 麻生区役所第1会議室

午後3時開会

1 開 会

司会 定刻となりましたので、ただいまより第6期第1回麻生区区民会議を始めさせていただきます。

本日、お忙しい中ご出席をいただきまして、ありがとうございます。私、副区長の向坂と申します。どうぞよろしくお願いいいたします。しばらくの間、進行を務めさせていただきます。

委嘱状交付

司会 まず、会議を開始いたします前に、区長より、委員の皆様に委嘱状を交付させていただきます。私がお名前をお呼びいたしますので、自席でお立ちいただいて、委嘱状をお受け取りいただきますよう、よろしくお願いいいたします。五十音順にご紹介をさせていただきます。

〔 委嘱状交付 〕

司会 なお、緒方保様は、本日、所用のため欠席でございます。

交付については以上でございます。ありがとうございました。

それでは、改めまして、これより第1回麻生区区民会議を開催させていただきます。

初めに、麻生区長よりご挨拶を申し上げます。

2 あいさつ

区長 改めまして、皆様、こんにちは。麻生区長の北沢でございます。

本日は、お忙しい中ご出席をいただきまして、大変にありがとうございます。また、ただいま委嘱状をお渡しさせていただきましたけれども、改めまして、第6期麻生区区民会議の委員にご就任いただきましたことを大変にありがたく思っております。どうもありがとうございます。

さて、区民会議は、市民が主役の市民自治を確立するための基本を示した川崎市自治基本条例によってその設置が定められております。川崎市区民会議条例に基づきまして、麻生区では平成18年7月から本格的に始まりました。今期が第6期ということで、これまで第1期から第5期、実に10年間、取り組みが行われてまいりました。この間、農、環境、安全安心、区の魅力、市民活動など、多岐にわたる分野において、

地域の中のさまざまな課題を改めて発見、抽出していただきまして、その解決に向けて調査、審議、そして、その取り組みの内容につきまして、地域の中でいろいろな形で広げていただいたり、場合によっては、区民会議発のあさお子育てフェスタのように先進的、モデル的に取り組んでいただいているという状況がございます。課題解決の取り組みにつきましては、現在、エコのまち麻生推進事業ですとか、あさお芸術・文化交流カフェをはじめ、区の事業とさせていただいているものや、その後の取り組みにつながっているものも多くございます。

一方、この10年間で少子高齢化の進展など、市を取り巻く状況も変わってまいりました。麻生区も同様でございます。住みなれた地域で皆様が安心して暮らしていただけるように、地域包括ケアシステムの取り組みが始まりました。この4月からは区役所に、地域包括ケアの担当として地域みまもり支援センターを新設するなど、区の組織も変わっております。この地域包括ケアシステムでは、誰もが住みなれた地域で安心して暮らし続けるために、地域の実情に応じた自助、互助などの取り組みが必要であるとのことから、地域で活動されている団体、会議体の方々など、地域の皆様をお願いしなければならない部分が今後ございます。区民会議につきましても、暮らしやすい地域社会を目指して、それぞれの役割を生かしながら、課題解決が図れるような仕組みをつくるなど、現在、市の方では学識経験者の方も交えまして、よりよい仕組みとなるように検討しているところでございます。これまでも皆様方には有意義なご議論をいただいているところでございますが、引き続き第6期区民会議が、さらなる深いご議論となることを期待しております。

きょうは第1回ということで、第6期区民会議の運営の仕方、あるいは第6期でのテーマの設定の方法、方向性につきましてご議論いただきまして、2年間という長いようで短い任期でございますけれども、ぜひ、よりよい麻生区の地域づくり、まちづくりのための取り組みをお願い申し上げまして、簡単でございますが、私からの挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

3 委員・参与紹介

司会 続きまして、委員、参与の紹介に移らせていただきます。

初めに、委員の皆様をご紹介します。恐れ入りますが、安藤委員より五十音順に、自己紹介にて、お名前と所属団体などのご紹介をお願いいたします。安藤委員、よろしくお願いいたします。

安藤委員 皆さん、こんにちは。産業振興分野の選出で参りました、JAセレサ川崎営農部営農指導課の安藤和彦と申します。私、産業振興分野の選出であります。私自身、生まれたときから麻生区民であります。産業分野、主に農業関係になるかと思っておりますけれども、その分野、もしくは一麻生区民として、区民会議に微力ながらも尽

力していきたいなというふうに考えておりますので、今後ともよろしく願いいたします。(拍手)

池松委員 今回、公募で参加させていただくことになりました、池松でございます。麻生区に参りまして4年たっておりますけれども、結婚以来、実は9回目の転居でございます、多分ここがつの住みかになるのではないかとということで、また、生活を楽しませていただいております。私自身、残り少ないというか、喜寿を過ぎておりました、あとわずかな人生だと思っておりますので、最後に元気なうちに皆さん方の、あるいは地域のために何かお手伝いできればということで、問題の提案と、それから、審議に参加させていただくということで、応募した次第でございます。まだ余り詳しくない面もございますが、お手伝いができればということで参加させていただきました。よろしく願いいたします。(拍手)

石井委員 石井よし子と申します。よろしく願いいたします。推薦団体等は里山フォーラム in 麻生の事務局長をしております。区民会議でいろいろな分野の活躍をしていらっしゃる方々と忌憚なく意見を交わしながら、区民主体の自治創造はどういう形がいいのかなというのを模索していければいいと思いますので、皆様と力を合わせて頑張りたいと思います。よろしく願いいたします。(拍手)

植木委員 皆さん、こんにちは。麻生市民交流館やまゆりを管理運営しておりますNPO法人あさお市民活動サポートセンターという、大変長い名前のところから参りました、植木でございます。よろしく願いいたします。私は、2期、5期と区民会議の委員をやらせていただきました。個人的にはもうそろそろ問題は出尽くしたので、さあ、具体的に何をやろうかというような段階に来ているのではないかと考えております。皆さんと熱き議論をしたいと思っております。よろしく願いいたします。(拍手)

海崎委員 公募で参りました、海崎といいます。公募ですけれども、今の植木理事長なのですけれども、私はやまゆりのサポートセンター、副理事長ということでやっています。ただ、海外が長いもので、帰国してまだ8年かな、どこに住もうかということも考えたのですけれども、結局、麻生区、東百合丘ですけれども、そこでつの住みかということで、勉強しながら、何か新しい企画でもと考えております。よろしく願いいたします。(拍手)

佐藤委員 皆さん、こんにちは。青少年指導員会の佐藤と申します。生まれも育ちも麻生区ですので、古いことは多少知っているつもりです。微力ですけれども、皆さんの力になりたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。(拍手)

佐野委員 佐野でございます。推薦団体、麻生区社会福祉協議会でございます。個人的には当事者団体の協議会に所属しております。あと、麻生区の自立支援協議会のほうも所属しております。あと、川崎市の障害児相談員を仰せつかっております。立場上、

私としては、共生社会の実現というのが自分の中でも究極のテーマかなと思っております。この麻生区がどんな方々にとっても住みやすい地域になるよう、皆様と一緒に何かできればと思って参加させていただいております。どうぞよろしく願いいたします。(拍手)

菅野委員 菅野明です。4期、5期は、麻生区文化協会からの推薦ということで出席しておりました。今度3期目になりますけれども、皆さんとまた新しい麻生区のいろいろなことについて話し合っていきたいと思っております。よろしく願いいたします。(拍手)

鈴木(昭)委員 皆さん、こんにちは。推薦団体は、麻生観光協会から参りました、鈴木と申します。今回は初めてこの会に参加させていただくのですが、皆さんと2年間、楽しい議論をさせていただきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。(拍手)

鈴木(隆)委員 鈴木隆広と申します。地域特性〔6大学連携〕というところで選出いただきました。所属団体は田園調布学園大学です。生まれも育ちも麻生区でして、麻生区の住民ということと、大学という立場から、何かお役に立てればと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。(拍手)

関根委員 初めまして。関根秀勝と申します。今住んでいるところは千代ヶ丘四丁目、約21年前にこちらに来まして、隣の世田谷区の下北沢の代沢というところの出身でございます。防衛省を平成7年に退官しまして、官舎住まいが長かったものですので、実家に近いところということで、この地域に住むようになりました。退官後、地域の自治会長を含めまして、地域の自治会に約5年お世話になりました。さまざまな麻生区のことを勉強させていただきました。今回、私は川崎市スポーツ推進委員としてこちらのほうに参加させていただいております。高齢者、若い方の健康づくりに対しては何かのご意見、参考になると思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。(拍手)

高倉委員 高倉と申します。今期は区長推薦ということで、委員を務めさせていただきたいと思っております。5年ほど前に、世間の感覚より若干早い年齢でサラリーマンを卒業いたしまして、その後は主にボランティア活動とか、アクティブシニアの親睦会に参加させていただきながら、日々を過ごしております。区民会議委員になると麻生区のことを非常によくわかるというふうに思いますし、勉強になると思っております。これから皆さんと一緒に地域課題の解決に向けまして、少しでもお役に立ちたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。(拍手)

高橋委員 こんにちは。私は、麻生区に住んで41年になります。嫁いでまいりました。私は麻生区町会連合106町会の連合会の副会長として今務めさせていただいております。私は町会長として18年になりますが、お受けしたときの私の心の中は、いつまで住ん

でも地域にふるさと感が感じられない、この地域で千代ヶ丘で生まれた子供たちのふるさとづくりを心がけていきたい、そういう思いで会長の任を受けさせていただきました。それから18年ですけれども、今、8町会の盆踊り大会も土曜日に終わりました。これからどんどん、麻生区町会連合、町会の開催の盆踊りが続いてまいりますが、地域は3000人ぐらいでしょうか、今回、千代ヶ丘小学校の校庭にお集まりいただいたのも、幼稚園の子供、小さい子供から、大人、お年寄りまで、そしてまた、今、青春を謳歌している中学生、高校生は、この会場が同期会というか、同窓会のような形になっていて、少しずつ文化は受け継がれているなという思いで、私も4期の後半と5期の2年を務めさせていただきました。地域づくりにまた皆さんと一緒に考えていきたいという思いで、また6期も皆様と一緒にという思いです。よろしく願いいたします。(拍手)

長岡委員 初めて参加させていただきます、NPO法人しんゆり・芸術のまちづくりで事務局員をしております、長岡さやと申します。よろしく願いいたします。小学生の子供がおりまして、子育て世代の代表として、現場の周りのお母さん方の生の声をヒアリングしながら、皆様にお届けできればと思っています。よろしく願いいたします。(拍手)

橋本委員 文化協会のほうから推薦されまして出ております、橋本周と申します。字が「周」という、男の子のような字ですが、おばあさんです。よろしく願いいたします。私もこちらに来まして40年ほどになりますけれども、やはりよそに行ってお話すると、新百合の近辺、おしゃれなまち、素敵なところですねとよく言われるのですが、実際40年住んでいて、確かに芸術文化のまちであり、教育のまちであるなと思いながら、もっともっと探してみたいことがいっぱいありますので、皆さんとともに勉強させていただければありがたいなと思います。余り役に立たないかもしれませんが、どうぞよろしく願いいたします。(拍手)

林委員 公募委員の林と申します。2期目になります。地域の中では、自称主婦なのですが、生活クラブ生協というところの理事をしております、その経験の中から、地域活動は市民がつくるものだということが根からたたき込まれております。現在は、かわさきかえるプロジェクトという廃食油を回収する団体がありますけれども、そちらのほうで提案事業をしております、麻生区の企画課の皆さんと協働で地域づくりに邁進しております。そのほかに、麻生区クールアース推進委員会のほうでは、自然エネルギーの普及啓発活動なども行っております。やはり自治会が地域の中ではすごく大事ということで、今、福祉コミュニティという、金程富士見会に入っているのですけれども、地域の中では福祉の活動にもかかわっております。余りいろいろやっているものですから、きょう、私はどこのどういう立場という、いつもそういう感じなのですけれども、できる限りのことはしていきたいなというふうに思ってお

ります。よろしくお願いいたします。(拍手)

松田(基)委員 区長推薦をいただきまして、今回初めて参加させていただきます、松田と申します。団体のほうは、現在、ガールスカウト32団の団員長として、地域のボランティア活動に従事させていただいております。また、川崎市連絡会と、あと、川崎市育成連盟のほうで役員をさせていただいておりますので、青少年の育成ということで、4団体協力体制で、今、行っているところでございます。子供の目線で、また、女性の観点で、こちらの麻生区に役立つような意見が発信できたらいいなと思っております。また、昨日は、都知事が女性に決まりました。こちらの麻生区長も女性に今期からということで、女性の活躍の場が出てくるのではないかと思います。どうぞ2年間よろしくお願いたします。(拍手)

松田(通)委員 こんにちは。私は松田通と申します。平成22年、平塚のほうから越してきました。息子は19年前に東百合丘四丁目に住居を構えまして、今現在、大学生と高校生の子育てをいたしております。私は息子の家に入るのではなく、平塚のほうでは建設業経理事務士として働いておりましたので、今度は頭を使うのではなくて、体を使おうと思ひまして、運動推進のほう、あさお運動普及推進員という会の受講を受けまして、いろいろ地域のために体を動かして活躍いたしております。私が住んでいるところは、ひとり住まいですけども、虹ヶ丘団地なんです。そこでは皆さん、高齢者がいまして、顔の見えないつながりをしていらっしゃるんですね。ですから、私は、高齢者が安心して暮らせるよいまちづくりをつくりたいなと思ひまして、参加いたしました。2年間、よろしくお願いいたします。(拍手)

吉垣委員 こんにちは。名簿の一番最後の吉垣君子と申します。よろしくお願いいたします。地域特性として、児童・地域福祉分野のほうからということで、民生委員児童委員協議会の主任児童委員の部会長をしております。主任児童委員のほうは、乳幼児から18歳までのお子様を担当しております。よろしくお願いいたします。そちらのほうの目線というか、子供がずっとこの麻生区に住んでいてくれればいいなと思ひながら、それを考えながら皆さんと一緒に区民会議に参加して、勉強していきたいと思ひますので、よろしくお願いいたします。(拍手)

司会 ありがとうございます。

続きまして、参与の皆様のご紹介に移りたいと思ひます。恐れ入りますが、勝又参与から順に同じく自己紹介をお願いいたします。

勝又参与 こんにちは。日本共産党から出ております、市会議員の勝又光江です。3期目になります。ちょうど議員になって10年目ということで、この区民会議も同じような歴史を積み重ねてきたということで、6期目ということなのですが、皆さんとご一緒に2年間、また、ここはいろいろな分野から選出されている委員が集まっていますので、その中でまた区分けして、いろいろな課題に向かって取り組んでいかれると思ひ

ますけれども、皆さんの取り組みが市議会でも反映できるように、ご一緒に頑張りたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。(拍手)

木庭参与 こんにちは。民進党の木庭理香子でございます。麻生区に生まれ育って48年、子育てもこの麻生区でこなしております、麻生区愛だけは、川崎愛だけは誰にも負けないと思って、議員をやらせていただいて、ことし6年目になりました。しっかりと区民会議にできるだけ参加させていただきまして、こちらで課題となっていることを議会のほうでも取り上げられるように、しっかりと務めさせていただきたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。(拍手)

月本参与 皆さん、こんにちは。川崎市議会議員の月本琢也でございます。私は独立系の無所属でございますので、会派には属しておりませんが。現在、白鳥に住んでおります。多摩線のほうに住んでいる人も、今、人口はふえているところでありますし、私も子供はいませんが、子育て世代と同じ37歳でございます。また皆様からご意見をいただきながら、麻生区の区民会議の取り組みは、毎回毎回、ほかの区の方がきっと驚くような先進的な取り組みが多いので、また皆さんの知見をぜひ生かさせていただきまして、ご主張いただければと思います。ぜひ2年間よろしく願いします。(拍手)

石川参与 皆さん、こんにちは。昨年の4月、初当選をさせていただきました、神奈川県議会議員の石川裕憲でございます。事務所は百合丘にございまして、住まいははるひ野でございます。麻生区に住んで10年になりますけれども、最初に住んだときは、栗平に、山梨から引っ越してまいりまして、この麻生区のよさに、前期でも言いましたけれども、35年の住宅ローンを組みまして、一生、麻生区に住んでいこうと思っております。政令市である川崎市と神奈川県とつなぐ立場でありたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いします。(拍手)

司会 ありがとうございます。麻生区選出の市議会議員7名の方と県議会議員2名の方に参与としてこちらのほうに加わっていただいております。他の参与の方からは、所用のためちょっと遅れて見える方、またはご欠席との連絡をいただいておりますので、きょうは、今のところ4名様のご出席ということで、ありがとうございます。

最後になりますが、区役所のほうから出席しております職員を紹介させていただきます。

[職員紹介]

4 議 事

司会 続きまして、事務局のほうから、本日の会議についてのお知らせと、議事及び資料の確認をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

事務局 それでは、最初に、本日の区民会議でございますが、川崎市審議会等の会議の公

開に関する条例第3条に基づきまして、公開とさせていただきます。したがいまして、傍聴及び報道関係者の取材につきまして許可をさせていただいているところがございます。また、市政だよりなどの広報資料として会議録の作成及び写真の撮影をさせていただきますので、ご承知おきくださいますようよろしくお願いいたします。傍聴者の皆様におかれましては、お手元に配付してございます遵守事項をご一読いただき、お守りくださるようお願いいたします。

続きまして、配付資料の確認をさせていただきます。

一番上に本日の会議の次第がございまして、次に、資料1として、席次表、資料2として、麻生区区民会議委員・参与名簿、資料3として、第6期麻生区区民会議運営要領（案）、続きまして、参考資料として、参考資料1、麻生区区民会議調査・審議課題選定基準、参考資料2で、第6期麻生区区民会議スケジュール（イメージ）、参考資料3として、第1期から第5期までの麻生区区民会議審議と提案への取組一覧、資料番号はありませんけれども、その後ろに、第6期麻生区区民会議今後の進め方について、それともう1つ最後に、第6期麻生区区民会議地域課題アンケート、以上をお配りさせていただいております。資料に不足等ございましたら、事務局までお申し出ください。よろしいでしょうか。

それでは、次に、本日の議事について確認をさせていただきます。お手元の次第をごらんください。4の議事といたしまして、次の4点についての審議をお願いいたします。

第1に、委員長の選出について、第2に、麻生区区民会議の運営について、第3に、副委員長の選出について、第4に、第6期麻生区区民会議における調査・審議課題の検討についてでございます。以上、よろしくお願いいたします。

(1) 委員長の選出について

司会 それでは、次第4の議事に入らせていただきます。本来ですと、これ以降の進行につきましては、委員長が行うところでございますが、委員長がまだ選出されておられませんので、委員長選出までの間、進行役は事務局である企画課長に務めさせていただきますと思います。では、進行のほう、企画課長とかわりますので、よろしくお願いいたします。

事務局 それでは、委員長選出まで、進行を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

初めに、議事(1) 委員長の選出についての審議をお願いいたします。

委員長は、区民会議条例第5条に基づきまして、委員の互選により定めることとなっております。委員長に推薦する方、もしくは立候補される方、いらっしゃいますでしょうか。

菅野委員 元気に手を挙げましたけれども、私じゃなくて、手を挙げる方がおられなければ、推薦したい方があります。

事務局 よろしくお願ひいたします。

菅野委員 皆さん、よろしいでしょうか。おこがましいことですが、大変重い荷を負わせることとなりますので、申しわけないとは思いますが、植木昌昭さんを推薦したいと思います。植木さんは、今後、第6期がどのように進むかわかりませんが、どのような課題に進まれてもご対応いただける、そういう活動をされてきた方だと私は思っております。ぜひ委員長を受けていただきたいと思います。

以上です。

事務局 ありがとうございます。ただいま菅野委員から、植木委員を推薦いただきました。何かご意見等ございますでしょうか。

〔 拍手 〕

事務局 承認される方の拍手をお願いする前に、皆様から既に拍手をいただきましたので。植木委員に委員長を務めていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは、植木委員は、委員長席へご移動をお願いいたします。

〔 委員長 着席 〕

事務局 それでは、植木委員長からご挨拶をいただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

植木委員長 改めて、皆様、こんにちは。ただいま委員長にとご案内をいただきました、植木でございます。前任の委員長が非常に長くしゃべる方だったので、私は手短にお話を申し上げたいと思っております。

こうして本日、おそろいの委員の皆様を見渡しますと、私よりも適任の方が数多くいらっしゃるように思ひます。けれど、皆さん、ご多用ということで、ご辞退をされた方が多いということで、私にお鉢が回ってきたのではないかなと考えております。いずれにいたしましても、誰かがこれをお引き受けしないと、この会議は進まないわけでございますので、まことに役不足ではございますが、快く引き受けさせていただきますと思っております。先ほど皆さんのお話を聞いておりますと、ぜひ麻生区をよくしたいという、いろいろな熱意を持っている方がお集まりになっているというようないきがいたしまして、大変心強く思っております。ぜひ皆様にいろいろな意味でご協力をお願いして、この第6期の区民会議が有意義に進められるようになればと思っておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

簡単ではございますけれども、ご挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。(拍手)

事務局 ありがとうございます。それでは、これからの議事の進行は植木委員長にお願

いたします。よろしくお願いいたします。

(2) 麻生区区民会議の運営について

植木委員長 それでは、早速議事に入りたいと思います。

議事の(2)は麻生区区民会議の運営についてとなっておりますので、これは事務局から説明をお願いいたしたいと思います。よろしくお願いいたします。

事務局 それでは、麻生区区民会議の運営についてということで、資料3の第6期麻生区区民会議運営要領(案)をごらんいただきたいと思います。

区民会議の運営に関しましては、これまで期ごとに麻生区区民会議運営要領を定めてございます。こちちは、副委員長の人数や兼職の制限など、今後の第6期区民会議の運営に関する基本的なルールを定めるものになっております。資料3をごらんいただきますと、第1条から趣旨がございまして、第2条に副委員長について、それから、第3条に会議開催について、第4条、議事運営について、第5条、専門部会について、第6条、企画部会について、裏面に参りまして、第7条は兼務の制限について、第8条は関係者の出席について、そして最後に、第9条で、その他ということで定めてございます。

説明は簡単ですが、以上になります。よろしくお願いいたします。

植木委員長 ありがとうございます。ただいま第6期麻生区区民会議の運営について、資料3に基づきまして説明がございました。この要領等につきましてご意見等ございましたら、挙手の上、ご意見をいただきたいと思いますが。

ご意見がないということだと思っておりますので、承認ということによろしいでしょうか。

[拍手]

植木委員長 ありがとうございます。それでは、この運営要領に基づきまして、これから会議を進めてまいりたいと思っております。

(3) 副委員長の選出について

植木委員長 それでは、議事の3に移らせていただきます。副委員長の選出ということでございまして、こちらにつきまして事務局から説明をお願い申し上げます。

事務局 それでは、副委員長の選出につきましては、ただいまご承認いただきました第6期麻生区区民会議運営要領に基づきまして、委員の互選で2名の方を選出させていただきたいと思っておりますので、どうぞ審議のほどよろしくお願いいたします。

植木委員長 それでは、副委員長に立候補される方、もしくは推薦される方がいらっしゃいますでしょうか。

高倉委員 私が立候補するわけではなくて、推薦させていただきたいと思っております。第4

期、第5期と委員を経験されたことや、自己紹介の中にもありましたけれども、町会連合会の副会長としてご活躍されていますし、地域のこと、それから、地域課題のことに非常にお詳しい、隣に座っていらっしゃいます、高橋慶子委員にぜひお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

橋本委員 私は、前期の副委員長をしております、非常に理論的にきちっと進められる方というふうに信頼しておりますので、菅野委員を推薦したいと思っております。

植木委員長 ほかに推薦される方、いらっしゃいますでしょうか。

吉垣委員 5期もやっていらっしゃって、公募で参加しております、林委員を推薦したいと思っております。

植木委員長 ありがとうございます。副委員長につきましては2名ということでございますけれども、優秀なメンバーがそろったので、3名も推薦が出たということで、大変うれしく思っております。それぞれ推薦された方で何か意見がございましたら。

菅野委員 私、昨年度、副委員長をやっていたので。それと、企画部会でも副部会長をやっておりましたので、ことしは、申しわけございませんが、せっかくの推薦でありがたいのですけれども、遠慮させていただきます。よろしくお願いいたします。

植木委員長 橋本委員、そういうことでございますので、どうでしょうか。本人がご辞退されているので。

橋本委員 本人は謙虚な方ですから、辞退しますけれども、やっぱりお3方挙がった中で、どなたをということで皆さんの拍手によって決まっていくものではないでしょうか。だから、私は推薦どおりお願いいたします。

植木委員長 それでは、今、そういうご意見でございましたので、どうしましょう。皆さん、拍手しちゃった場合、どうしますか。

菅野委員 橋本さん、いろいろとおっしゃりたいことはわかるけど、新しい方に副委員長をお願いしたいと思います。そのようにおさめてください。

橋本委員 文化協会、一緒ですので、余りごり押しすると、3日の会議がやりにくいので。じゃ、私、もう1方推薦してよろしいですか。だめだとどうしてもおっしゃるので。お若いのですけれども、田園調布学園大学で交流センター長をやっています鈴木さんを、やっぱりこういった会議、学識経験者的な人と、それから、現場的な人と、2本立てで行くのが非常に進めやすいと思いますので、鈴木委員を推薦いたします。

高橋委員 皆様のご意見をお聞きしておりますと、若い方ということで、鈴木さんに。私もいろいろ町会連合のほうでも兼務しておりますので、ご辞退いたします。2名で、林委員と。

植木委員長 そういうことで、鈴木さん、よろしいですか。というのは、副委員長は、ある程度ご経験のある方のほうが僕は個人的には助かるんだけどね。別段経験がなくて

もそれは構いませんけど。ご自分のご意思でどうぞ。この際、嫌は嫌、いいはいいで、はっきりしていかないと、物事は進みませんので。

鈴木（隆）委員 初選出なものですから、まずはちょっと様子をとっていたのですけれども、まさかそういう話になるとは。あと、私、センター長ではなくて、普通の課員でございますので、まだまだ未熟でございますので、できれば、お話があったように、経験者の方のほうがよろしいのではないかというふうに思われるのですが。

植木委員長 いろいろな意見が出ましたので。それでは、委員長に一任ということでもいいですか。私がやりやすいようにやらせてもらって。

それでは、東京都知事も女性になりましたし、麻生区の区長も女性ということで、女性2人の推薦の方に、心もとない私のサポートをしていただくということで、副委員長はこのお2方、高橋さんと林さんをお願いしたいと思っておりますので、ひとつよろしくをお願いしたいと思います。

〔拍手〕

植木委員長 それでは、副委員長に今選ばれましたお2人の方、前のほうの副委員長席についていただければと思います。

〔副委員長 着席〕

植木委員長 それでは、私をサポートしていただく両副委員長、心強いわけでございますけれども、ひとつご挨拶をしていただければと思います。よろしく申し上げます。

高橋副委員長 今、皆様のご期待に添えないで、委員長のほうからお力添えをということで、今回は素直に受けさせていただきまして、どこまで委員長のサポートができるかわかりませんが、林さんと一緒に、副委員長の立場で頑張らせていただきます。ありがとうございました。（拍手）

林副委員長 公募の委員ということで、こういうことはないだろうなと思っていたのですけれども、前の1期やりましたときに、何がどうなっているかわからないけれども、一生懸命やりました。そういうことをきいてくださった方々のご推薦かなというふうに思います。ただ一生懸命やるだけで、それほど力はないんです。ただ一生懸命だけは誰にも負けないように頑張りたいというふうに思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。（拍手）

植木委員長 ありがとうございました。大変心強い2人の副委員長さんでございますので、ひとつよろしく願い申し上げます。

（4）第6期麻生区区民会議における調査・審議課題の検討について

植木委員長 それでは、議事の（4）第6期麻生区区民会議における調査・審議課題の検討について、事務局のほうからご説明をお願い申し上げます。

事務局 それでは、参考資料2の第6期区民会議スケジュール（イメージ）をごらんいた

だきたいと思います。今後の審議テーマの選定に当たりましては、9月の後半ないしは10月の前半に予定しております第1回の企画部会におきまして、全員参加型のワークショップを行わせていただいて、課題の抽出等を行いたいと考えているところでございます。具体的な流れにつきましては、運営補助のスタッフのほうから説明をいたしますので、よろしくお願いいたします。

社会空間研究所 社会空間研究所の中島と申します。よろしくお願いいたします。

それでは、皆様のお手元にあります2枚なのですが、資料番号はないのですが、第6期麻生区区民会議今後の進め方についてと、第6期麻生区区民会議地域課題アンケートをごらんいただきたいと思います。

まず、進め方についてを見ていただきたいのですが、今後の検討内容でございます。段階としてはこの3段階ありまして、その中で、専門部会を設置し、審議テーマを検討していく形になると思います。進め方についての今後の検討内容の1つ目のところに、地域課題アンケートがあります。ここでは、委員の皆様がふだん感じている地域課題について挙げていただこうと思っています。

その次が、第1回企画部会、9月下旬ぐらいを予定しておりますけれども、地域課題アンケートを踏まえて、専門部会で審議する地域課題になりそうなもの（候補）を出していただきたいと思っています。

その次に、第2回全体会、11月上旬のところで、企画部会で検討された地域課題になりそうなものを踏まえて、専門部会、2つ程度設置したいと考えております。

具体的にどうするかでございますけれども、まず、(1)の地域課題アンケートについては、アンケートのシートをごらんください。皆様のほうで、ふだん麻生区で生活していたり、皆さんが所属している団体などで活動していて、麻生区の課題だなと思われることを書いていただきたいと思っています。それを3つ以内で書いていただきたいと思います。1つの課題につき、ふだん感じている麻生区の地域課題と、あと、考えられる解決策、アイデア、お考え等があれば書いていただきたいと思っています。ここで重要視していただきたいのは、地域課題ということなので、地域課題を重要視して書いていただいて、それで解決策としてアイデア等がありましたら、無理ない範囲で書いていただければと思います。場合によっては解決策、アイデア、お考えのほうは空欄でも構いませんけれども、なるべく書いていただけるとうれしいかなと思っています。こういうのを8月19日の金曜日までに事務局の企画課のほうにご提出いただきたいと思っています。これ、エクセルでつくっておりますので、データで直接書きたいという方がいらっしゃれば、企画課のほうにご連絡いただければ、そのフォーマットをお送りします。

地域課題の3つを出していただきまして、それを踏まえまして、9月下旬に開催される企画部会で麻生区の区民会議においてどのような審議課題を検討するかという候

補を幾つか絞り出したいと思っています。目標としては、5、6個ぐらいに絞り込んでいって、こんな課題が重要なのではないか、このような課題が考えられるのではないかなというところを絞り込んで、候補をつくっていきたいと思います。

絞り込むに当たって少し参考になりますのが、参考資料1がありますけれども、先日の勉強会でもお話しさせていただきましたが、緊急性、必要性、公平性、実現性とありますが、こういったところを参考にして、テーマを絞り込んでいくという作業を9月下旬の企画部会でやっていきます。特に区民会議で重要なのは、この表にある5番と6番、協働による取組の可能性と区民の主体性が前提条件になりますので、そういったのを意識していただきながら、今後の審議課題をどうしようかという候補を検討していきます。

進め方に戻っていただきまして、5、6個に絞り込んだのを踏まえまして、第2回全体会において、どのような専門部会を設置しようかというのを検討し、専門部会を設置して、その中で皆さんがどの専門部会に参加するかを決めるところまで全体会でやるという形で進めていきたいと考えております。

進め方については以上でございます。

植木委員長 今、説明をいただいたわけでございますけれども、何かわからない点とか、もう少し説明が欲しいとか、そういう内容がございましたらご意見をいただきたいと思っております。よろしいですか。それでは、拍手で承認ということでお願いしたいと思います。

[拍手]

植木委員長 まとめますと、第1回の企画部会におきまして、全員参加型のグループワークで、ざっくばらんに意見交換を行いまして、お互いの理解を深め、テーマの優先順位を決める、そして、その企画部会での結果を第2回の区民会議で提案、審議し、テーマを決定し、課題検討専門部会を立ち上げるという流れで進めさせていただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

以上の内容でございますけれども、よろしいですか。——それでは、ご説明ありがとうございました。

きょう、初めて、こうして全員お集まりでございますので、今の審議テーマの抽出等に向けて、感想など、何でも結構でございます。余り時間は差し上げられませんけれども、お1人1分程度で何かご発言をお願いしたいと思っています。

発言につきましては、新しい委員の方も多くいらっしゃいますので、先輩でございます第5期の委員の方から順次意見等々を言っていただければと思っておりますので、あいうえお順で、まず石井委員からお願いしたいと思います。次回に向けての何か感想とか。

石井委員 課題というのがいろいろあったのですけれども、植木さんも課題は出尽くした

とか……。

植木委員長 僕の私見ですから。

石井委員 かなりおっしゃっていて、私もそれを踏まえながらちょっと今見直していました。10年目になって、課題は果たしてどう解決されているのだろうか、解決に向かっているのだろうかとか、いろいろ思いながら、10年目、何か形になるものがあればいいなと思っているところです。

植木委員長 それでは、菅野委員、お願いいたします。

菅野委員 昨年度の若い世代が住みやすいまちづくり部会に所属していたのですが、その中で、提言の中に、(仮称)麻生区魅力PR委員会の設置、あるいは麻生区シティセールス・PR部門の設置について提言しているのです。これはいろいろ麻生区でたくさん活動している人たちの意見を集めて、そして、そういう麻生区、素晴らしい、いいところだよ、だから、若い人たち、おいでよというPRをしていこうではないかというところまで行っているのですが、具体的にどのような作業をしていったらいいかというところまでは進められなかったという思いが私なんかにはあるんですね。そんなことも課題になっていくのかなと思っています。

以上です。

植木委員長 それでは、高倉委員、お願いいたします。

高倉委員 これから先、どんな審議課題に絞り込まれるかということだと思っております。余り枠を最初からはめるのはいけないのだと思いますが、第4期、第5期を通じてそうですが、専門部会をほぼ毎月やっても議論が尽きないというか、今、菅野委員おっしゃったように、なかなか課題の掘り下げができないというのが実態だと思いますので、前期からの課題の継続の部分で少し考えておくのもいいかと思っておりますけれども、先ほど申し上げたように、余り枠をはめないのがいいかなという、ちょっと相反するのが私の意見です。

植木委員長 では、高橋委員。

高橋副委員長 第5期では、あさおボランティア情報センターを行政のほうにお願いしているところですので。ただ、まだ現実的にあさおボランティア情報センター、仮称ということで、どのようにこれから考えていったらいいのかということが課題が残されております。そういう状況、いろいろニーズに応じて、また皆さんとご一緒に考えていけたらいいかなというところを今思っております。

植木委員長 それでは、林委員。

林副委員長 今、高橋委員もおっしゃったように、私も市民活動部会のほうにおりまして、ボランティアについてさまざま調査もしましたし、そして、情報センターの機能が欲しいよねというところまでの提言をいたしましたけれども、その先、ボランティアのまち麻生を掲げるに至るまで、もう少し見守っていきたいというような感想も持

っております。ただ、先ほど自己紹介でも申しましたように、私はどちらかというと環境系なのですね。石井委員もそうなのですけど。それから、個人的に興味があるのは食、そして、食を通じて、子育ての皆さんとともに、明日も親子の料理教室をやるのですけれども、そういった仕組みなんかもすごく必要だなというふうに思っているのです。ですので、私はどんな課題にも対応できるかなと思います。

植木委員長 次に吉垣委員。

吉垣委員 私も若い世代が住みやすいまちづくり部会のほうに参加しておりまして、自分たちがやっている子育てサロンで、お母さんたちに、麻生区、どういう感じだと住みやすいみたいな感じでアンケートを取ったりいたしました。あと、子育てフェスタのときに、若い世代部会のほうでアンケートをとりまして、アンケートをとった結果、皆さん、住みやすいですよと、利便性がいいし、すごくいいところですよみたいな感じだったので、やはり芸術のまち麻生というのがまだ浸透されていないのかなと、そういう感じがありまして、麻生区の魅力を、子育てをしているお母さんたちまで浸透できればいいなみたいな感じで、いろいろ部会で話はしてきたのですけれども、まだその結果は出ていないのかなと思いますので、またそういう感じで、若いお母さんたちのアンケートをもとに、第6期にもいろいろとやっていってはどうかかなと思います。

植木委員長 私も意見を言わせていただきたいと思います。私は、第6期では、単なる課題を取り上げて、わいわい騒ぐだけでなく、誰がということと、どこでという、そういう視点を大事にして、第6期は皆さんといろいろな意見を交わすことができたらいいなと思っておりますので、よろしく願いしたいと思います。

以上、5期の方のご意見なり感想を頂戴いたしましたけれども、引き続きまして、今年度の新しい方から、あいうえお順にお願いしたいと思います。安藤さんのほうからお願いいたします。

安藤委員 私も今回、セレサ川崎、農協の立場で出席させていただいたのですが、第5期では同様に、セレサとしての推薦があったというふうにお聞きしておりまして、その推薦の委員がなかなかこの会議には出てこれなかったというところもお聞きしています。そのせいかどうかということではないのですけれども、この委員に推薦された中で、自分なりにも勉強会以降でも勉強させていただいた中で、4期、5期の審議の内容の中には、農業関係がなくなっているのかなと。1期から3期までの間はあると。麻生区の大きな特徴としまして、川崎市内で唯一農業振興地域があるのは麻生区だけなのですね。早野、岡上、黒川に農業振興地域があるのですけれども、そこで掲げている問題というのは、私は仕事上でも大きく直面している部分でもございますので。私自身も兼業農家で、父と母は農業をやっておりますけれども、古くからいる地元の方々のいろいろな地域的な環境等を踏まえた中で、農協の立場であるところと区

民の立場であるところで、できればもうちょっと掘り下げていきたいかなと。今般、農協改革というところで、JAも結構たたかかれている部分もあるのですけれども、極端な都市型農業で当組合としても農家に対しての貢献というのはなかなかできないのですが、農業振興地域を唯一抱えている麻生区の特徴を生かした中で、その辺で掘り下げていければなというふうに感じております。

植木委員長 それでは、池松委員、お願いいたします。

池松委員 私はこの中でも多分一番高齢なのかなと思うのですが。私自身、常々、NPO法人をつくって、少子高齢化のことにささやかながら取り組みをやっていたのですけれども、なかなか解決策がないというので、行き詰まっているところもあります。ただ、麻生区についてそれを考えてみますと、これはまた非常に厳しいということがよくわかっているのです。現在既に高齢化率が22%です。つまり、21%以上は超高齢社会というふうに言われるのです。これがどんどん進んで、将来的には市の推計によると38%までなるという推測が出ております。それからもう1点は、少子化のほうは、なだらかに、大体10%前後で進むのですが、今度は現役世代がどんどん減ってしまう。これがまたひどいことになるというのが推測として出ております。そうすると、このまちは一体どうなるのかなというのが私は非常に心配がありまして、今回、私が提案したいと思っているのは、高齢者が健康長寿のまちづくりを支えていく、つまり、自分が健康に過ごすためにまちづくりといったようないろいろな活動に参加して、そして、健康を保っていくというようなことを取り組んではどうかと。

実はこの話は、前期の5期の報告書の中に若干出ておりますけれども、1つは、シニアが中心になったボランティア活動、地域活動をやっているという話と、それからもう1つは、フォーラムで健康寿命の話が出ておりました。健康を保つためにはいろいろな活動に参加するのが体にいいのだという話をされています。これはWHOで決めております生活機能プランを応用した議論なのです。これをあちこちの県でも実行しようという動きが今出ております。ですから、高齢者がふえてくると、どうしても介護とか医療費がふえて、非常に厳しい話が出てきますし、現役世代が減ってくると、介護する人もいないということになるので、何かここで手をみんな考えて、一緒に取り組まなければいかんのではないのかという危機感を持っておりますものですから、できればそういうことを皆さんと一緒に知恵を出し合って、取り組みができればというふうに思って提案をし、また、参加させていただいた次第でございます。よろしく申し上げます。

植木委員長 それでは、海崎委員、お願いします。

海崎委員 先ほど申し上げたように、日本でまだ体験不足ですね。ただ、帰ってから、植木理事長と一緒に、今、副理事なのですが、市民交流館やまゆりでいろいろな活動の支援をしています。あそこは非常にいいところだと私は思っています。ただし、考え

てみると、あそこでは、元気な人を、より元気にする感じですね。健康寿命をよく延ばすと。それはそれですごく意義があると思うのです。それから、今、植木理事長が寺子屋とかいろいろやって、子供さんも大事にしようと思ってやっているわけですが、考えますと、弱い人、子育てで困っているお母さん、先ほどお話があったとか、自分の疑問なのですが、何で夜間中学、高校が川崎にないのかなど。調べたら横浜に随分あるのですね。そういう方は皆横浜に行ってしまうのか、もともとないものは必要じゃないのですけれども、弱い人をこのまま放っておいていいのかなというのがすごく疑問に思っています、ただ、どういう弱い人がいるかは全然わかっていないのですけど。あと、シングルマザーというのは大丈夫かなとか、そういうのは今ちよっと思っています。行政に絡む、政府に絡む問題なので、手を触れないという点もありますけれども、今、それが非常に気になっています。交流館では元気な人をより元気にするということで、それは頑張るつもりでやっています。

植木委員長 それでは、佐藤委員、お願いします。

佐藤委員 今回初めてで、こういうご意見がいろいろあるなというのを、1つ1つ聞いていて、びっくりしているということなんですね。青少年指導員として推薦で来ているんですが、会長が平日来れないので、私、代理みたいな形で来てしまっ、とんでもないところに来ちゃったななんて、今、これからいろいろ勉強しなきゃという段階で、私が言えるのは、青少年指導員で川崎の理事会とかも行くんですが、ああいう事件があって、こちちは安心、安全、子育てには最適なまちづくりという、まちとしてしか思っていないのですね。それをまたこのように若者づくりの会議で上げていたというのが、私も全然わからなくて、逆に子育てにいいまち、若者が集まってくるまちにしか思えなかったんですね。ですから、そこから考えをそういうものを勉強して、いろいろ役に立てたらと思います。

以上です。

植木委員長 それでは、佐野委員、お願いいたします。

佐野委員 初めての参加ですが、いろいろお話を伺いまして、私も今までの5期までの中の提言事項の深掘りみたいなのが必要ではないかなと考えておりました。これは全て2年間で完結しているのか、まだよく勉強していないんですが、やはり何か取り残し課題等、さらに深く進めていかなくてはいけないようなものもあるのではないかなというのは感じております。ですから、課題抽出に関しましても、ここはそれぞれの専門のプロフェッショナルなものを背負った所属団体の方たちが出ておりますので、それを区民会議の委員全員の共通認識として、皆さんが一緒になってやっていかれる、そこがまず第一のハードルかなというところがあります。皆さんそれぞれの思いを持っていらっしゃると思いますが、それがみんなが同じ視点で考えていかれるようなものになっていく。あと、区民会議で提言できること、できないこと、その辺もあると思いま

す。やはり区民会議でできること、できないことの見きわめというの、そういう目線を持って審議していかなくてはいけないかなと思いますが、2年間、楽しみなどころもありますので、よろしく願いいたします。

植木委員長 それでは、鈴木昭弘委員、お願いします。

鈴木（昭）委員 私も初めての参加で、まだまだ勉強不足のところがあるのですが、実は第1期からの区民会議の提言の資料をいただいた後、少し予習させていただきまして、思ったことは、佐野委員がおっしゃったように、今まで出てきた議題をもう少し掘り下げべきなのかなというふうに思います。特に先ほど安藤委員もおっしゃっていたのですが、地域の特性のところ、農のことに關しては、1回のところでのまま終わっているような感じもありますし、麻生区内というのは実は文化芸術だけでは、魅力が発信できることがたくさんあるのではないかなというふうに思うんですね。そういうところをもう少し掘り下げて、今後、2年間やっていただけたらなというふうに個人的には思うんです。

以上でございます。

植木委員長 それでは、鈴木隆広委員、お願いします。

鈴木（隆）委員 私は、田園調布学園大学に所属しておりますけれども、こちらは宮前区のほうに近くて、なかなかアクセスしづらいところがございます。私は地域交流センターというボランティアセンターに所属しております、学生たちにボランティアの紹介、相談、そして、ボランティアの情報を収集したりとか、あとは地域貢献の活動を行っております。そういう視点でのお手伝いと、あと、その場でお答えできないかもしれませんが、いただいた課題に対しまして、本学には福祉とか、教育、保育のプロフェッショナルの先生方がいらっしゃいますので、相談しまして、情報をお伝えするということができるのではないかなというふうに思っています。そのほかに、地域貢献活動の中でも、この前、第5期の報告書を見させていただいたミニたまゆりというイベントの名前が入っております、とてもうれしかったのですが、こちらの活動も12年間続けております、また、今年もやるようになっておりますけれども、ここで既存であるイベントで何かお手伝いすることができればというふうに思います。

また、私は32年なのですが、32年間ずっと麻生区に暮らしてきて、なかなかこういう区民の活動というのに参加していなかったんで、この機会にさらに麻生区をより知って、活動できればいいなと、会議でも少しでもお役に立てればいいなというふうに思っております。

以上です。

植木委員長 それでは、関根委員、お願いいたします。

関根委員 皆様のご意見を聞いていて、私も何となくまだ暗中模索の状況なのですが、

私は今現在、健康づくりのほうで参加させていただいておりますが、もともと1期か

らの話をお伺いすると、区民の生活に一番密着している部分がかかなりテーマに入っているということ、それと、今度、アピールという面で、麻生区のすばらしいものをアピールする、この辺の2つの2本立てで動いているようなテーマが多いように思います。私は今現在、先ほどお話ししたように、スポーツ推進委員のほうで、どちらかという、人の健康に属するようなお手伝いでボランティアをやらせてもらっています。あと、地域の金程の「わ・わ・わ・クラブ」、これは子供さん相手の健康づくりです、そちらの事務局員もやらせてもらっております。こういう中で見て、先ほど植木委員長がおっしゃったように、かなりの内容が審議されて、いいテーマが前期の皆さん、資料で出ているのですね。先ほど委員長が言われたように、そろそろ、どこで、誰が、どのような形で、こういうようなものを、少しでも地域のために浸透させ、実行できるような方向性に向かおうではないかというお話があったのですが、全くそのとおりでないと感じております。その中で、私の部門で、どのように皆さんにお力添えできるかということは、これからは自分なりの勉強になると思います。

ただ、今、高橋副委員長がおられますが、こういうようなものを実行するには人手が必要なのですね。そういう意味では、もう少し地域の自治会長あたりの組織を動かさないかなという考えもあります。これについては、麻生区の協議会がありますが、そういうようなところに会長、副会長等が行かれて、説明をして、自治会長、1年やる方と、3年やる方、5年やる方、いろいろあって、会長の認識においてそれぞれの地域によっては温度差があると思うのですが、デメリットもありますが、そういうような場を利用して、そろそろこういうものを実効性に少しでも移せるような方向性に行かれたらいいのかなと、今感じたところであります。今後ともよろしく願いいたします。

植木委員長 それでは、長岡委員、お願いします。

長岡委員 初めて参加させていただくので、場違いのような気がして、気が引けるんですけども。所属団体としては、審議テーマの芸術文化のまちづくりを課題に上げるべきだと思うのですが、個人的には、子育てしやすい環境づくりのほうが興味があります。近所の母親のネットワークが、最近はSNSですとか、LINEで結構幅広くでき上がっておりますので、少しだけLINEを通してみんなの意見を聞いてみたところ、たくさんの課題が出過ぎて、3つに絞り切れないので、どうしようかと、困っているんですけど、現場で今子育て中の幼稚園から高校生ぐらいまで育てているお母さん方の意見を取り入れていただければありがたいなと思います。よろしく願いいたします。

植木委員長 それでは、橋本委員、お願いいたします。

橋本委員 お話を伺っていますと、全部、すばらしいな、取り組まなきゃというふうに思うんですけども、私は池松さんがお話になったような高齢者の問題、きょう、たま

たま、101歳の方が亡くなったお葬式にも行ってきたのですが、やっぱり最後のほうは施設でお世話にならない、専門性の人というような課題もあるわけですね。そういった部分で、私はこの中で、審議課題の選定基準にあるように、緊急性とか、必要性、全て含めて、危機管理等を考えたときに、これは高齢者も子供も、私は専門は子育てなものですから、そういった部分も含めると、やはり4期、5期でやってきた、若者が住みやすい。若者が住みやすいということは、高齢者も住みやすいわけですよ。弱い人も住みやすい。そういったことで、若者に住みやすいということは、よそから転居してきて、地域の中でまだ溶け込んでいないのですよ。そういった部分では、高齢者にとっても、弱者にとっても住みやすいまちを目指しているのだろうなと。言葉は取り入れていますけれども、そんな捉え方をしていきますと、その辺も大事にしていかなければいけないかなと。

それで、4期で、フェスタですか、あれは麻生区が一番おこなっています。私は高津区の区民会議の委員をやっていましたけれども、10年前にフェスタをやって、これは行政でやるのではなくて、社協を中心に、市民がいて、みんなでつくり上げるのをもうやってきているのですよ。それが10年おくれたところで初めて。でも、課題で取り組んでくれたのですね。当時の菅原委員長でしたか、そういった部分でやって、それが住む人たちに、若者にいいまちにと定着していった経過があります。

そういった部分で、大変リーダーシップのある植木さんですから、誰が、どこで、何をするかというのは、多分、いろいろなものをやるんだろうなと、やるというか、残せるのんだろうな、続けるのんだろうなというところへ持っていくのんだろうなというふうに期待ができるけれども、考えるのは委員でございますので、余りリーダーシップに頼らないで、みんなが意見を出し合っていられるようにしていきたいと思っています。よろしくお願いします。

植木委員長 いい助言、ありがとうございます。ぜひそのように進めさせていただきたいと思っております。

それでは、松田基久乃委員、お願いします。

松田（基）委員 私の団体としては、子供のほうでというふうな気持ちもありますけれども、今、第1期から5期までのこちらの課題を見るところによりますと、審議されているテーマが全て共通しているということで、2年で完結ではないというのが見てわかるのですけれども、子供の子育てについて、環境のつくりということで考えた場合は、これは農業のほうもつながりますし、また、芸術のほうにもつながっていきます。芸術のほうにつながるということは、そちらのほうで年配の方たちも、また音楽に触れるということは、元気に過ごすことの1つということもありますし、そこからまた今度は健康につながっていくと思います。これから新しい課題を出すということでも、同じようなものが出てくると思うので、先ほど佐野委員とか、鈴木委員がおつ

しゃっておりましたけれども、今まで出てきた課題を深掘りするというのが今回6期の課題ではないのかなという気がします。1つに絞る、2つに絞るということよりも、例えば子供に集中したとしても、そこから全部枝葉がつながっておりますので、全てにつながっているなというのが感じるものなので、その中から、審議するというよりも、1つずつ具体的に、例えば音楽の芸術に対しては、年配者も若い者も一緒に参加できるものをまちぐるみで考えていって、盛り上げていくというような方向で、それを農業にもつなげていけますし、健康にもつなげていくということで、これとこれというのは絞りづらいと、全てが共通している中で、その中で、子供の元気なまちは明るいものですから、未来が見えてきますので、そこを中心に全ての方がかかわっていけるようなものを、今出ている審議の中から深掘りをしていったらいいのではないかと思います。

植木委員長 それでは、最後に、松田通委員、お願いします。

松田（通）委員 私も、今、松田委員が言われたように、その目線からいろいろ模索していったらいいなと思います。それから、池松委員がおっしゃっていたように、高齢者の見守りというのですか、そういうのも考えていただきたいと思います。私は虹ヶ丘の団地、まちおこしプロジェクト、これは民生の方たちとか、行政の方たちが1年ぐらい統計をとりまして、去年から発足したんですね。そうしまして、その中には、なかなか若い人は来ないんですよ。参加されないんです。老人会の方たちがすごく人数を呼び出しまして、そもそもは健康づくりのためにやってみたいなんですけれども、健康保険を使わない、ひきこもりにならないようにとか、そういう議題から始まったみたいなんですけれども、皆さん、元気な姿で出ていらっしゃいますんですね。そのとき、どうしても私は、体操したいなと思ひまして、体操をやってくれないかななんて思いましたら、全然、やはり音楽とか、お孫ちゃんのお話とか、そういうのをなさると、とても皆さん喜んで。皆さん現役のときは立派に生きていた人たちばかりが集まってくるみたいなんです。ひとり住まいの方ですね。そういう方たちをもっともって皆さんの知恵を出して、健康づくりに導きたいなと思います。

以上です。

植木委員長 ありがとうございます。皆さん、いろいろな形で、今までの経過をよく勉強されているということで、大変感動しました。きっとこの会議は、いろいろな意味で、いいような形に、ぜひ皆さんともども進めていけたらなということを思っております。

(5) その他

植木委員長 スケジュールの調整がございますので、会議開催日程等につきまして、事務局のほうからご提案をいただきたいと思ひます。

事務局 議事（５）その他といたしまして、今後の会議の開催日程についてご提案をさせていただきますと思います。皆様、本当にお忙しい中、こうやってご出席をいただくことに今後もなつてまいりますので、あらかじめ、例えば前期ですと、全体会議は第２金曜日に基本的に日程を設定させていただいております。また、企画部会ですと第１金曜日とか、そういう形で、ある程度の目安でつくらせていただければと考えてございます。次回、日程調整の際に、そちらのほうもあわせて皆様のご都合を伺いながら、調整させていただければと考えておりますけれども、その点、いかがでしょうか、ご審議願えればと思います。

植木委員長 ただいま事務局の提案がございましたけれども、そのような形で進めさせていただくということではよろしいでしょうか。——それでは、そういう形で、次回の会議のときに日程調整をやりたいと思いますので、よろしくをお願いします。

それでは、これで議事を無事終了できたということでございます。なにぶん不慣れでございますので、議事進行につきましては、いろいろとご迷惑をおかけしたと思っておりますけれども、よろしくをお願いします。

それでは、最後になりますけれども、大変お忙しい中、ご出席をくださいました参与の皆様へ、ご助言なりご感想などをいただければと思います。あいうえお順ということでございまして、まず、勝又参与からお願いいたします。

勝又参与 皆さん、お疲れさまでした。それぞれ皆さん、１分間ずつということだったのですけれども、これからどういうふうな形で進めていこうかというのを真剣に考えているというのがすごくよくわかりました。いろいろな意見が出ていますけれども、８月１９日までの提出期限ということなので、その中でたくさんの案が出てくるのだと思いますが、今後、楽しみしていきたいと思っております。よろしくをお願いいたします。

植木委員長 それでは、木庭参与、お願いいたします。

木庭参与 皆さん、長時間お疲れさまでした。私も今、皆様の会議を拝見しておりました、非常に闊達なご意見を皆さんお持ちだなというのがわかりましたので、心強く思いました。先ほど安藤委員もおっしゃっていましたが、ほかの委員の方もおっしゃっていましたが、私も今、農業委員会に参加しております、川崎市内に特に集中している麻生区の農業をもっと活性化させなきゃいけないというのは非常に感じております。そうしたことも麻生区のテーマとしてこの区民会議でも取り上げていただけたらなというふうに感じました。別にこれを強制しているわけではないので、聞き流していただいて結構ですけれども、今後の皆様のご意見の発展を期待しております。本日はお疲れさまでした。

植木委員長 それでは、月本参与、お願いいたします。

月本参与 皆さん、お疲れさまでした。今、木庭参与のほうからもお話がありました、農業の話なのですけれども、大体自分と同じぐらいから少し上の世代の方が、麻生区に

新しく住んでいる世代、私もそうなのですけれども、川崎市内から、例えば中原区とか、幸区とかから引っ越してこられる方がたくさんいらっしゃるんですね。そういう方が、すごい魅力があると。何で引っ越してきたかというところの理由として、緑がいっぱいあるとか、あるいは農があるまちですよ、そこにすごい魅力を持って引っ越してこられるという方がたくさんいらっしゃるということもありますので、農業という部分も1つとして、皆さんの麻生区がいいところだということの共有の中で、魅力をどう表現していくかという部分を、具体的な方向性を皆さんそれぞれお持ちだと思いますので、ぜひ第6期、皆様の議論にご期待申し上げます。また今後ともよろしくお願ひします。ありがとうございました。

植木委員長 それでは、最後に、石川参与、お願ひいたします。

石川参与 きょうはありがとうございました。さまざまなご意見を聞かせていただきましたけれども、私もそうですが、麻生区外から来て、麻生区のよさを改めて知った、そしてまた、麻生区にずっと住み続けていただいている方が、麻生区のよさをPRする、こういう融合が大切なのかなというふうに思いました。皆様のこれからのこの会議に対しての今後について、私も一緒に勉強してまいりたいと思います。きょうはありがとうございました。

植木委員長 参与の皆様、大変ありがとうございました。今後とも麻生区民会議へのご助言をぜひお願ひ申し上げたいと思います。よろしくお願ひ申し上げます。

5 閉 会

植木委員長 それでは、これをもちまして、第1回麻生区民会議を終了いたします。長時間にわたりましていろいろと熱心なご審議、ありがとうございました。これからもよろしくお願ひ申し上げます。

午後4時35分閉会